

本部門に於ては左記例の事項を取扱ふこと

一、司法保護思想の啓蒙普及

一、對象者の職業保護

一、被保護者の大陸移民

第六部 教育並教化に關する事項

本部門に於ては左記例の事項を取扱ふこと

一、教育と社會事業

一、宗教と社會事業

一、社會教化

第七部 社會事業組織化に關する事項

本部門に於ては左記例の事項を取扱ふこと

一、都市及農村問題と社會事業

一、社會事業の連絡並研究の問題

一、社會事業従事員の問題

一、社會事業の助成並財源問題

一、社會事業の立法並行政問題

一、日滿支社會事業の協力問題

五、豫備審議並議案

(一) 地方に於ける豫備審議並議案の提出

協議事項に關しては道府縣、朝鮮、臺灣、樺太、關東州各地方社會事業協會若くは之に準ずる團體

毎に夫々管内に於ける豫備審議を行ひ其の具體的意見を取纏め昭和十五年七月末日迄に財團法人中

央社會事業協會宛提出方を依頼すること

右期日は之を嚴守すること

(二) 中央に於ける豫備審議並議案の整理

協議事項に關しては中央に於て豫め専門委員を委嘱し各部豫備審議を行ひ地方提出議案の整理を爲

すこと

第三項 參會資格並協議員に關する事項

一、參會人員

參會人員は三千名を限度とすること

二、參會者資格

(一) 社會事業關係者にして道府縣、朝鮮、臺灣、關東州各地方社會事業協會長及樺太廳長官、南洋廳

長官若くは之に準ずる機關に於て推薦したるもの

(二) 主催者に於て推薦したるもの

三、參會通告(略)

四、參會協議員の部屬(略)

第四項 會費、旅費其他に關する事項(略)

### 司法省の支那事變前後に互る一般及少年犯罪増減調

支那事變が國內犯罪現象に及ぼせる影響如何は種々の觀點より見て興味ある事柄

であるのみならず人口政策的見地よりしても極めて重要な資料たるはいふ迄もないが、司法省の調査になる支那事變前後に互る一般及少年犯罪の増減は以下の諸表の示すが如くである。

第一表 支那事變前後に於ける犯罪事件數調 (新受事件) (司法省調査部調査)

事由	第一審			合計	終局件數	捜査			合計	終局件數
	刑罰犯	特別法犯	受審事件			刑罰犯	特別法犯	受審事件		
昭和十一年一月	四、七五二	三、二二三	七、九八五	八、二九八	二八、一一〇	九、三八四	三七、五〇四	三二、七四四		
二月	三、五八八	二、九六二	六、五五〇	七、〇一三	一六、九三四	七、八八八	二四、八二二	一九、七七六		
三月	四、七六九	四、六七七	九、四四六	九、〇九一	二四、五八〇	一〇、六〇四	三五、一八四	三〇、〇七九		
四月	六、六八六	四、六九三	一一、三七八	一〇、九七〇	三〇、九九三	九、二六七	四〇、二六〇	四二、〇一三		
五月	七、二五六	四、八〇三	一二、〇五九	一二、二〇五	三四、四七四	九、九九六	四四、四七〇	四七、六九三		
六月	七、一四二	四、九二〇	一二、〇六二	一二、一四九	三四、一七八	一一、五二〇	四五、六九八	四七、五九〇		

昭和十三年一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	昭和十二年一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月								
五、〇九五	五、三九四	五、四七五	五、八三七	六、二八四	五、八七九	六、三八四	五、五七二	四、五二八	六、八一九	五、九〇七	五、九六五	六、三三〇	四、八五六	六、一一六	五、四九五	三、八五五	四、八五四	六、五三二	六、三〇五	四、九一五	七、三九四	六、一四九	六、三二七	六、五八六	五、三一九	六、四三〇
三、〇九四	三、〇〇六	三、〇四一	三、五二七	三、九二七	三、二七一	三、一八〇	二、八三二	二、九三四	四、六一八	四、〇〇八	三、六一七	三、九三五	三、四九五	五、〇九三	六、三四〇	四、七三六	三、九六四	三、六四五	三、四二三	三、一三四	四、九九九	四、二〇五	五、三一六	四、四八一	三、三二八	四、六八四
八、一八九	八、四〇〇	八、五一六	九、三六四	一〇、二一一	九、一五〇	八、四〇四	七、四六二	二、九三二	一、四三七	九、九一五	九、五八二	一〇、二六五	八、三五一	一一、二〇九	一一、八三五	八、五九一	八、八一八	一〇、一七七	九、七二八	八、〇四九	一二、三九三	一〇、三五四	一一、六四三	一一、〇六七	八、六四七	一一、一一四
八、五〇一	八、二八一	八、四〇三	九、六六五	一〇、二六九	九、〇五二	八、四八六	七、六二九	七、四二九	一一、二三九	一〇、〇三〇	九、五八五	一〇、五〇七	七、七九八	一一、二五二	一一、四九六	八、五四二	八、七七五	一〇、〇三四	八、一三三	一二、三六七	一〇、六三五	一一、九六四	一一、四五〇	七、七一一	一一、二七四	一一、二七四
二四、二四六	二五、三三七	二四、八七〇	二六、五九九	二八、九七三	二七、四〇〇	二七、〇七三	二二、六八九	二二、九四六	三〇、八五九	二七、四二八	二六、九六六	二八、五五二	二五、五七〇	二八、四七〇	二七、四三七	一九、三一二	二五、二四三	三一、八〇四	二七、八八〇	二八、一八三	三六、三五二	二九、二一五	三四、八一四	三四、五四八	二九、二五九	三三、九五七
一〇、四一四	九、二四四	七、六四一	八、九五六	九、一六四	七、九九八	七、三二六	八、三五七	八、三五六	一〇、四二二	一〇、五四二	九、九三三	一〇、五二二	七、八一五	九、八二四	一一、六五七	九、六〇五	九、五〇六	八、一三〇	九、三六四	一四、一八四	一〇、五五八	一三、八七三	一四、一三六	九、九二八	一一、一六八	一一、一六八
三四、六六〇	三四、五八一	三二、五一一	三五、五五五	三八、一三七	三五、三九八	三四、三九九	三〇、八二一	三三、三〇三	四一、二八一	三七、九七〇	三六、八九九	三九、〇七四	三三、三八五	三八、二九四	三九、〇九四	三四、八四八	四一、三一〇	三六、〇一〇	三七、五四七	五〇、五三六	三九、七七三	四八、六八七	四八、六八四	三九、一八七	四四、一二五	四四、一二五
三三、七七三	三二、五一二	三三、〇六一	三五、七二〇	三八、九七六	三四、三一一	三四、三九五	二九、九二六	二六、七一一	四九、三三九	四〇、一八四	三七、九五九	四一、七七七	三二、四一九	四一、一七三	四〇、三七二	三二、二三八	四〇、〇四四	三五、〇〇四	三二、〇九六	五九、四九五	四〇、七一七	四九、九六七	四九、六七五	三六、三一一	四五、〇三四	四五、〇三四

昭 和 十 四 年 一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月
四、六五八	四、九〇〇	六、〇二〇	五、二二八	五、八三〇	五、五〇四	五、〇四三	四、八一四	四、七四八
三、一〇四	二、一三四	二、三三四	二、三六八	二、八九七	三、一二九	三、五五七	三、三〇九	三、二五六
七、七六二	七、〇三四	八、三三四	七、五九六	八、七二七	八、六三三	八、六〇〇	八、一二三	八、〇〇四
七、四九〇	六、八七三	八、三〇三	七、四八三	八、七九九	八、四六二	八、四六八	七、八八〇	八、〇二一
二二、八八一	二〇、五六五	二二、六一四	二一、九一一	二四、六三六	二二、七〇八	二一、一〇七	二二、八四〇	二〇、二〇五
九、三三〇	六、四六五	六、二八八	六、四二〇	七、七六一	八、八二〇	八、七三八	八、一一六	一〇、四七六
三三、二〇一	二六、八三三	二九、九〇二	二八、三三一	三二、三九七	三二、五二八	二九、八四五	三〇、九五六	三〇、六八一
三三、〇一六	二五、四二八	二八、七一一	二七、八三六	三一、四九四	三〇、八六一	二九、九二三	二九、一三五	三〇、九八五

第二表 支那事變前後に於ける犯罪事件數の各月増減調

(第一表の新受事件合計に付)

年 次	月 別	事件別	昭和十一年	同十二年	同十三年	同十四年	昭和十一年は	同十二年は	同十三年は	同十四年は
一	月	第一	七、九八五	八、〇四九	七、四六二	五、九二七				
二	月	第一	三、七五四	三、七五四	三、三〇三	二、六八三				
三	月	第一	六、五五〇	九、七二八	八、四〇四	七、〇三四				
四	月	第一	二、四八三	三、六〇一	三、〇八二	二、六二〇				
五	月	第一	九、四四六	一、〇一七	九、五六四	八、三三四				
六	月	第一	三、五、一八四	四、一三〇	三、四、三九九	二、九、九〇二				
七	月	第一	一、三、七九	八、八、一八	九、一、五〇	七、五、九六				
八	月	第一	四、〇、二六〇	三、四、八四八	三、五、三九八	二、八、三三一				
九	月	第一	一、一、三、七九	八、八、一八	九、一、五〇	七、五、九六				
十	月	第一	四、四、四七〇	三、四、八四八	三、五、三九八	二、八、三三一				
十一	月	第一	一、一、〇、五九	八、五、九一	一、〇、二、一一	八、七、二七				
十二	月	第一	四、四、四七〇	三、〇、九三三	三、八、一、三三	三、二、三、九七				
一	月	第一	一、二、〇、六二	一、一、八、三五	九、三、六、四	八、六、三、三				
二	月	第一	四、五、六、九八	三、九、〇、九四	三、五、五、五五	三、二、五、二八				
三	月	第一	一、一、一、一四	一、一、二、〇九	八、五、一、一六	八、六、〇、〇				
四	月	第一	四、四、一、二五	三、八、二、九四	三、二、五、一一	二、九、八、四、五				

昭和十一年は 同十二年は 同十三年は 同十四年は

増 減 増 減 増 減

八月	八六四七	八三五一	八四〇〇	八二二三	二九六	四九	二二八
九月	三九、一八七	三三、三八五	三九、〇七四	八、一八九	五、八〇二	一、一九六	二、四二九
十月	一一、〇六七	一〇、二六五	三九、〇七四	八、〇〇四	八、〇二	二、〇七六	二、二六一
十一月	四八、六八四	三九、〇七四	三四、六六〇	三〇、六八一	九、六一〇	四四、二四	八、三九三
十二月	一一、六四三	九、五八二	七、七六二	二、〇六一	二、〇六	一、八二〇	二、二六
	四八、六八七	三六、八九九	三二、二〇一	一一、七八八	一一、七八八	四、六九八	二、二六
	一〇、三五四	九、九一五	七、六一九	二、八三九	二、二九六	二、二九六	二、二九六
	三九、七七三	三七、九七〇	三二、六八〇	一、八〇三	五、二九〇	五、二九〇	二、二九六
	一二、三九三	一一、四三七	九、六七三	九、二五六	九、二五六	一、七六四	二、二九六
	五〇、五三六	四一、二八一	三五、〇六九	九、二五六	九、二五六	六、二二二	二、二九六

地方裁判所管轄別全國少年犯罪調 (司法省保護課調査)

廳名 昭和十年 同十一年 同十二年 同十三年 同十四年 五ヶ年平均

東京	八八四〇	八七三	八二一八	七、七九	七、五二六	八一、九二	三、〇六四	三、〇六四	三、〇六四	三、〇六四	三、〇六四	三、〇六四	三、〇六四	三、〇六四
横濱	一、〇三	七、七六	七、〇	七、〇	六、四七	七、〇	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
浦和	九、九	七、七八	七、六二	五、〇	四、七五	七、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
千葉	六、五	五、七〇	五、二	五、四三	四、四六	五、四三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
水戸	七、四	一、〇、三	一、〇、三	九、四六	七、四	九、〇二	二、四四	二、四四	二、四四	二、四四	二、四四	二、四四	二、四四	二、四四
宇都宮	六、一	七、〇	五、七	七、四三	八、〇九	七、五	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
前橋	一、七、七	一、三、七	一、三、三	一、〇、五	七、七	一、三、一	二、〇、七	二、〇、七	二、〇、七	二、〇、七	二、〇、七	二、〇、七	二、〇、七	二、〇、七
静岡	八、三	八、五九	七、六八	八、七四	八、七二	八、三九	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
甲府	四、四	四、五	三、五	四、八	四、〇	四、一	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
長野	五、四	五、四	四、五	四、四	四、〇	四、一	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
新潟	八、三	八、四	九、〇	七、三	七、〇	八、〇	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
京都	一、〇〇	九、六	七、三	八、五	六、五	八、九	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
大阪	五、六	六、一	四、〇	三、九	三、九	四、七	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
神戸	一、四、二	一、八、一	一、五、〇	一、三、七	一、六、八	一、五、	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
奈良	三、九	三、五	二、七	二、五	一、九	二、九	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
大津	四、三	二、九	四、三	四、四	三、五	三、五	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
和歌山	九、六	一、〇、二	八、五	九、〇	四、五	八、二	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
徳島	七、六	七、六	六、七	六、七	六、八	七、四	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
高松	一、七	三、〇	三、六	三、六	三、六	三、六	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
高知	七、一	五、七	五、八	五、八	六、一	五、九	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
名古屋	三、一、六	三、〇、六	三、〇、六	三、〇、六	三、〇、六	三、〇、六	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
安濃津	四、七	四、六	四、六	四、六	四、六	四、六	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
岐阜	六、一	六、九	五、三	五、三	五、三	五、三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
福井	二、四	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
金澤	四、三	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
富山	五、〇	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
廣島	一、五、七	一、七、三	一、六、八	一、六、八	一、六、八	一、六、八	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
山口	九、七	八、六	九、九	九、九	九、九	九、九	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
岡山	一、三、八	一、〇、七	一、〇、七	一、〇、七	一、〇、七	一、〇、七	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
鳥取	三、三	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
松江	六、七	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
松山	七、三	七、三	七、三	七、三	七、三	七、三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
長崎	七、〇	六、二	六、二	六、二	六、二	六、二	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
佐賀	四、一	六、二	六、二	六、二	六、二	六、二	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
福岡	三、四	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
熊本	一、六、八	一、九、七	二、五、三	二、五、三	二、五、三	二、五、三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
大分	三、五	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
鹿児島	五、〇	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三
鹿兒島	五、〇	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三	三、〇三

宮崎	五三	四八	五〇	四八	二六	四三	青森	五九	四三	四九	三三	四七
那覇	八	一〇	一九	三	七	七	札幌	六五	八五	一〇五	九〇	五七
仙臺	三三	三四	二五	二八	二四	二九	函館	六四	三八	三六	二六	一〇六
福島	四九	四七	五〇	四六	四三	六九	旭川	四〇	三五	二九	二六	三〇
山形	二六	三六	二四	二五	三三	二七	釧路	三六	三七	二九	二九	三〇
盛岡	二九	三四	四三	三六	三〇	三四	太田	一四	一四	一五	一七	一五
秋田	三三	四一	四九	三五	三三	四六	計	五、二五	五〇、三	四六、九	四三、四	四七、四

### 東京市に於ける市民調査の施行

戦時下物資配給の正確なる基礎資料整備の必要から東京府及市に於ては昭和十五年七月一日現在の府民調査及市民調査を施行したが、其の今後の集計結果は都市人口問題上にも新しい一資料を加へるものとして期待されるゝところが多い。

特に東京市の市民調査に關する東京市民調査提要の一部を摘記すれば次の如くである。

#### 東京市民調査提要(調査の要綱)

- 一、調査の主旨 本調査は東京市民籍に關する最新資料を急速に徴收し一般生活必需品の需給調整に關する緊要な對策の樹立實行上須要なる基礎資料の作成整備を目的とす。
- 二、調査の時期 本調査は昭和十五年七月一日現在を以て調査す。
- 三、調査の範圍 本市内に定住する者を以て構成する世帯及び其の世帯員に付調査す。  
但し左記を除外する。

一、宮城、離宮、皇族の殿邸其の他之に準すべき

#### 箇所

- 一、外國の大使館、公使館
- 二、陸海軍の部隊及艦船
- 三、刑務所、留置場

(一) 世帯には普通世帯と準世帯とがある。

(イ) 普通世帯とは住居及家計を共にする者といふ。家族は勿論、主家で寝泊りする雇人(抱藝妓、住込女給等も雇人と看做す)は其の世帯員とする。

一人にて住居を有し家計を立て、居る者も一の普通世帯である。

家計を共にするも別に住居を有する者は住居を異にする毎に各一の普通世帯である。

一軒の家でも間借りや二階借りをして別世帯を營んで居る者があれば夫々別の世帯とする。

(ロ) 準世帯とは寄宿者、下宿屋、合宿所等に在る家計を共にしない者の集りをいふ。

下宿屋の様な場合には營業主の家族、雇人から成る世帯を一つの世帯とし、下宿人は之を一纏めにして別の準世帯とすること。但し素人下宿の下宿人の如きは其の世帯(下宿先)の世帯員

とする。

(二) ここに定住者とは常時市内に住居を有する者をいふ。

(イ) 随つて民法の住所とは大多数の場合一致するが、民法の住所の要件を爲す生活の本據たる事を要するものでない。平常居住の場所であればよい。而して定住地は唯一のものとするべきであるから交代に二軒の家に住んで居る者の如きは何れか一軒に決まなくてはならない。

(ロ) 一時の旅行とか入院とかして居る者は平常居る世帯の世帯員に加へる。

(三) 水上生活者に就ては警視廳に依頼する事になつてゐる。

四、調査票及調査の事項(調査表及調査事項に就いては別掲「市民調査票」参照)

五、調査の機關 本調査は區長が市長の指揮を受け區内の調査の執行を掌るのであつて、之が執行に關する事務は隣組區域により隣組長に委嘱する。

六、調査の方法

(一) 調査票用紙その他の印刷物の交付 市民調査票用紙其の他の印刷物は市長から區長、町會長を経て隣組長に夫々交付する。